

脱炭素化社会の実現について (新門司工場基幹改良工事)

1 概要

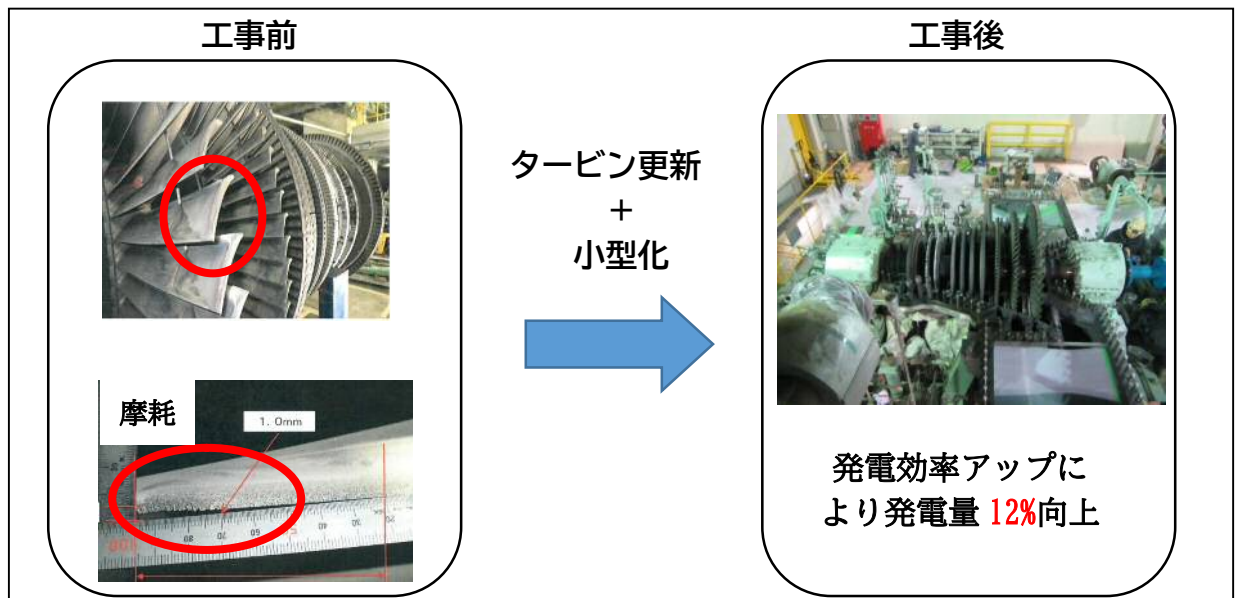
新門司工場基幹改良工事については、現在、北九州市公共事業評価中であり、主要設備の更新等により施設を延命化するとともに、脱炭素化の推進を図る予定である。

2 新門司工場の特徴

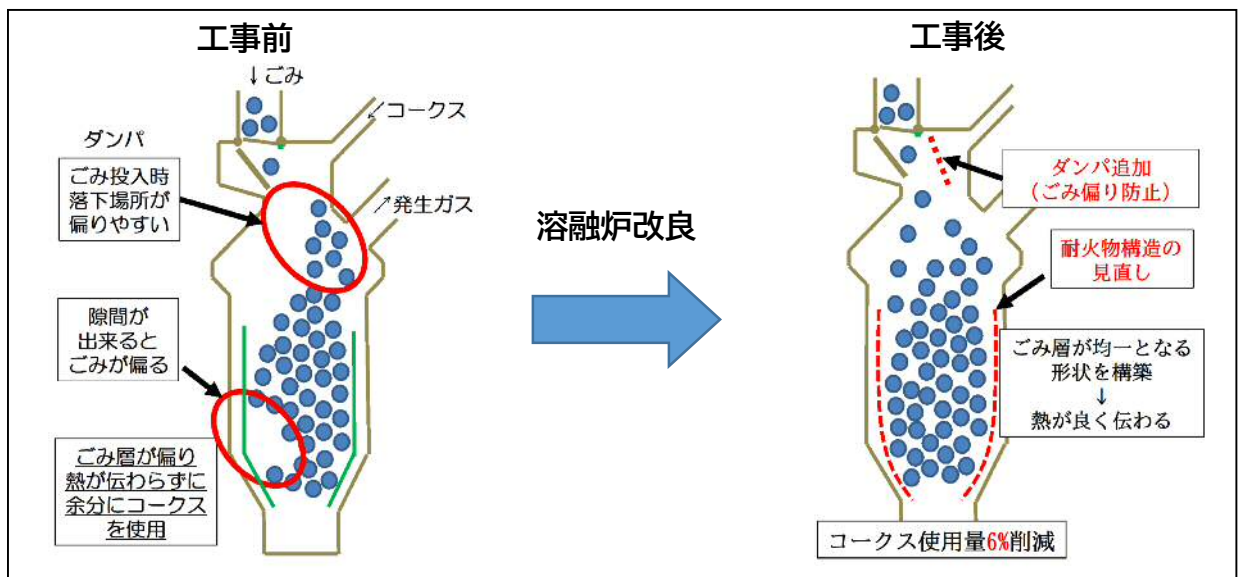
供用開始：平成19年（2007年）4月
処理能力：720トン/日（240トン/日×3炉）
処理方式：シャフト式ガス化溶融炉

3 基幹改良工事における脱炭素化の取り組み

(1) 発電機の更新



(2) 溶融炉の改良



(3) 省エネ機器の導入

ごみクレーン等に省エネ電動機を導入

4 新門司工場の温室効果ガス排出量

(千 t-CO₂/年)

		工事前	工事後	削減量	内容
排出量	ごみ	33.1	33.1	0	
	コークス*	① 19.5	18.2	-1.3	溶融炉の改良
	電力*	② 17.4	17.3	-0.1	省エネ機器の導入
	合計	70.0	68.6	-1.4	
発電による削減量*		-42.4	-47.5	-5.1	発電機の更新
実質的な排出量		27.6	21.1	③ -6.5	

○ 削減量 -6.5 千 t-CO₂/年、削減率 約 17% ③/ (①+②)

※ 「廃棄物処理施設の基幹的設備改良事業マニュアル」(環境省策定)により算出

5 事業スケジュール (予定)

令和4年11月	公共事業評価・事前評価2 (検討会議)
令和4年12月	公共事業評価 (パブリックコメント)
令和5年 1月	委員会報告
令和5年 4月	起工
令和5年12月	本契約
令和6年度	現場着工
令和9年度	竣工

6 添付資料

新門司工場基幹改良工事 (延命化) について・・・別紙1	
公共事業評価の体系	・・・別紙2

新門司工場基幹改良工事（延命化）について

1 事業概要

事業箇所 : 門司区新門司三丁目79番地

事業費 : 約106億円

事業目的 : 一般廃棄物の安定処理を行うため、老朽化した新門司工場の機能回復を図るとともに、延命化することによりライフサイクルコストの削減を目指す。

また、設備の省エネルギー化や廃棄物発電の効率化により、脱炭素化の推進を図る。

2 事業スケジュール（予定）

令和4年度 : 公共事業評価・事前評価2

令和5年度 : 契約

令和6年度 : 現場着工

令和9年度 : 竣工

事業位置図 :



公共事業評価の体系

